



No.95

さいばいニュース

公益財団法人
神奈川県栽培漁業協会
 発行所 〒238-0237
 神奈川県三浦市三崎町
 城ヶ島養老子
 ☎ 046(882)6980
 FAX046(881)2233

自前での供給を目指し...

カサゴの種苗生産試験始まる

カサゴは、沿岸漁業で大量に漁獲はしないものの、着実に刺網や釣りでの漁業収入を得られるため、また、釣りの対象として人気があり、増殖の期待が高まっています。栽培漁業協会でも毎年十萬尾を越える種苗購入希望が寄せられ、他県から種苗を購入し、配布しています。カサゴは岩礁や海中林などに生息し、底生生活で神奈川県では十一月から二月にかけて



自前供給を目指すカサゴ種苗

栽培漁業協会では、自前での種苗供給できるように、平成二十二年度から試験的にカサゴの種苗生産を行っています。平成二十二年度から約一萬尾前後の全長六〜八センチの種苗を生産できるようにになりました。今年度も十一月から仔魚の飼育が始まり、平成二十五年の夏に種苗を供給できるように、現在、細心の注意を払って飼育しています。カサゴは放流一年目で全長十センチ、二年で十三センチに成長します。

新年のご挨拶



公益財団法人 神奈川県栽培漁業協会
 理事長 後藤 勇

あけましておめでとうございます。神奈川県栽培漁業協会は昨年四月一日より公益財団法人として新しいスタートを切りました。従来の財団法人から公益財団法人に移行したことに伴い、寄付行為から定款になり、運営形態が大幅に変わりました。理事

者ならびに行政の方々のご理解を得ながら、今後ともより良い成果を生み出すように努力していきます。神奈川県は栽培漁業協会を自立化させ、今後、県が補助金を出すことはなくなりました。したがって、基本的に受益者負担によって運営費を賄っていく必要があります。しかし、施設は県から無償貸与されていますが、マダイ種苗生産池の底掃除機や中間育成池の老朽化、また、飼育海水を汲みあげるポンプならびに取水管の傷みが激しく、早急に改修や取り替えが必要となっています。本来、施設の維持・管

課題は、栽培漁業協会の飼育施設は、カサゴの仔魚の飼育にとって必要な規模の大きい加温装置がないことです。このため、現状では、需要がある全部の種苗を生産できません。

そこで今後は、現在ある施設の利用を工夫することなどとして、二萬尾程度を自給できるようにしていきたいと考えています。また、放流後の移動や回収率と経済効果を明らかにしていく必要があります。

カサゴは刺身、煮つけ、から揚げなど料理法が多様です。消費者にとって、神奈川県産の海産物が増えれば、新鮮な魚が食卓に上がる機会が増えることが期待されます。

理は県で行うこととなっていますが、県が緊急財政施策を打ち出している中で、これら費用の予算化が極めて厳しい状況にあります。漁業者や遊漁案内業者ならびに遊漁者の種苗放流に対する期待は高いものがあります。これらに応えるため種苗生産の基盤である施設が壊れてしまふと、生産と栽培漁業協会の運営は非常に厳しいものがあります。

是非、このような状況を改善していくため、皆様のご理解とご支援をお願いいたします。最後に皆様のご健勝とご多幸、大漁を祈願して新年のご挨拶とします。

世界初マダイ種苗生産成功 五十周年 記念式典挙行



山下博士に感謝状

昨年十月十四日、横須賀市にある観音崎自然博物館で世界初マダイ種苗生産成功五十周年記念式典が行われました。

昭和三十七(一九六二年)に世界で初めてのマダイ種苗生産を成功させたのは横須賀市の観音崎水産生物研究所でした。式典では当時の功労者

である山下金義博士が招かれ、神奈川県知事から感謝状が授与されました。観音崎水産生物研究所の所長である四竈安正博士と西塚隆氏とともに山下金義博士は、マダイの人工授精卵から稚魚まで育て、観音崎の多々良浜に六尾を放流することができました。

マダイの種苗生産は戦前から水産研究者の夢であり、現在各地の栽培漁業センターで百萬尾単位の種苗生産が可能となった基礎を築いた点で記念すべき業績です。

栽培漁業のあゆみも五十年にあたりこの間様々な種類の魚介類の技術開発行われ、資源管理とともに人工種苗で減少した資源を回復して、生物循環ができる社会が求められています。

育てた後、小網代湾の生簀に移しましたが、八月の放流二週間前ごろからアオサギ、コサギ、ウミウが大量に生簀周辺に集まりました。急いで、防鳥ネットを生簀に覆いましたが、ウミウがネットを掻い潜り、潜水して鵜呑みにしてマダイを食べまくりました。このため、今年度のマダイ種苗放流数は、四十萬尾に止まってしまう皆様にはご迷惑をお掛けしました。来年度は、この経験を踏まえて、防鳥対策と中間育成生簀への沖だしは天気予報を見ながら慎重に行っていく予定です。

潮騒

平成二十四年度のマダイ種苗生産・放流は七十万尾と目標を立て、五月から種苗の生産を始めました。五月七日・九日に静岡県浜岡からマダイの卵を購入し、陸上池で育てていましたが、六月十三日に三浦市小網代湾にある小割生簀に移し、中間育成し始めて七日後に台風四号が通過し、その時に生簀網が吹かれて稚魚が傷つき大量に斃死してしまいました。次に第二回目の種苗生産をするため、千葉県の勝浦から卵を搬入し、陸上池で

あけましておめでとうございます 公益財団法人神奈川県栽培漁業協会の事業の発展を祈念いたします

社団法人
全国豊かな海づくり推進協会
 会長理事 服部 郁弘
 〒103-0001
 東京都中央区日本橋小伝馬町九十六
 小伝馬町松村ビル六階
 TEL 03-5651-3501
 FAX 03-5651-3502

東京湾遊漁船業協同組合
 理事長 飯島 正宏
 〒140-0002
 東京都品川区東品川一七一
 TEL 03-3471-7401
 FAX 03-3471-6835

環境保全と水産業の振興を
 財団法人
相模湾水産振興事業団
 理事長 武井 正
 〒250-0021
 小田原市早川一〇一
 TEL 0465-215989
 FAX 0465-215914

**相模湾遊漁問題
 対話推進協議会**
 会長 久保田源太郎
 〒250-0021
 小田原市早川一〇一
 TEL 0465-215989
 FAX 0465-215914

全国においしさを運びます
タムラ運輸サービス株式会社
 代表取締役 石川 義夫
 〒230-0831
 横須賀市久保浜一〇〇〇一
 TEL 0468-342200(代)
 FAX 0468-342500
 ■本 社
 〒230-0831
 横須賀市東井三二四七
 TEL 0468-574664
 FAX 0468-574669



マダイ種苗を丁寧に放流

当協会は、平成二十四年度種苗放流事業の一環として、相模湾から東京湾にかけて、合計四十万尾のマダイ種苗を放流しました。

相模湾側では真鶴町地先に三万五千尾のマダイ種苗を放流したほか小田原市・江之浦地先

平成二十四年度種苗放流事業 マダイ種苗四十万尾を放流

に五万、大磯町地先に一万、平塚市地先に三万五千、藤沢市・江の島片瀬地先に三万五千、葉山町地先に三万五千、横須賀市・小田和湾内に五万尾でした。



重要魚種、ヒラメ種苗放流

重要魚種、ヒラメ種苗放流。今年度、同事業と漁協によるヒラメ種苗放流実績は、横須賀市漁協四万三千尾、長井町漁協九千尾、横須賀市大楠漁協六千尾、初声漁協六千尾、横須賀市東部漁協五千尾、みうら漁協五千尾、江の島片瀬漁協一万六千尾、真鶴

中間育成し、放流サイズまで育てました。生簀から活魚運搬船に積み込み、放流場所へ運び、布製の網で水と一緒に稚魚をすくい丁寧に放流しました。

二年目の資源管理・漁業所得補償対策 六万五千尾余りのヒラメ種苗放流

国及び神奈川県は平成二十三年度から、水産物の安定供給を図るため、計画的に資源管理に取り組み漁業者を対象に、漁業所得補償対策に取り組み

今年度、同事業と漁協によるヒラメ種苗放流実績は、横須賀市漁協四万三千尾、長井町漁協九千尾、横須賀市大楠漁協六千尾、初声漁協六千尾、横須賀市東部漁協五千尾、みうら漁協五千尾、江の島片瀬漁協一万六千尾、真鶴

あけましておめでとうございます 公益財団法人神奈川県栽培漁業協会の事業の発展を祈念いたします

クロレラ工業株式会社
生産本部技術特販部
〒833-0666
福岡県筑後市久富一三四三
TEL 0942-251-2261
FAX 0942-251-7203

株式会社ヤマリア
新しい釣りを提案する
代表取締役 山下 整 治
本社・横須賀工場
〒239-0831
神奈川県横須賀市神明町1-1-4
TEL 046-818-5473
FAX 046-818-3495
http://www.yamaria.co.jp/

東京湾南部水産振興事業団
財団法人
理事長 岩崎 一郎
〒239-0831
神奈川県横須賀市久里浜八一九五
TEL 046-818-3495
FAX 046-818-3490

神奈川県漁業無線協会
一般社団法人
会長理事 栗山 義 男
〒238-0232
三浦市晴海町一七
TEL 046-818-2278

神奈川県漁船保険組合
漁船漁業を守ります。
組合長理事 木村 和一
〒236-0051
横浜市金沢区富岡東二一〇二二
TEL 045-771-7301
FAX 045-771-7300

神奈川県漁業協同組合連合会
代表理事 高橋 征 人
〒236-0051
横浜市金沢区富岡東二一〇二二
TEL 045-771-7377

クローラ工業株式会社
生産本部技術特販部
〒833-0666
福岡県筑後市久富一三四三
TEL 0942-251-2261
FAX 0942-251-7203

基本財産の二部を特定資産に移動

神奈川県栽培漁業協会は昭和六十一年に発足しました。その際、神奈川県、沿海市町、漁業協同組合、水産団体の五十四団体が出捐(寄付)して基本財産を設けて、その利子を運営資金に充ててきました。昭和六十三年度に増額し、今まで七億六千七百七十七円を基本財産として保有してきました。

とでその利子は一・七％一・九％になりましたが、一・五億円は定期預金とし、その利子は〇・三八％で預けています。

この特定資産は、公益目的事業安定化基金として、運用することによって、公益目的事業の実施のために必要な場合に限り、理事会の決議を経て、この基金の全部もしくは一部を取り崩して、公益目的事業の実施費用に充てていきます。

■取り崩し前

区分	設立基本財産	栽培漁業推進基金	増養殖振興基金	計	
				金額	割合
神奈川県	209,000	144,000	200,000	553,000	72.65%
沿海市町 (15)	9,000	98,850	0	107,850	14.17%
漁協等 (26)	4,000	56,600	0	60,600	7.96%
水産団体等 (13)	4,450	35,270	0	39,720	5.22%
計 (54)	226,450	334,720	200,000	761,170	100.00%

■取り崩し後

区分	設立基本財産	栽培漁業推進基金	増養殖振興基金	計	
				金額	割合
神奈川県	209,000	79,468	200,000	488,468	79.92%
沿海市町 (15)	9,000	54,552	0	63,552	10.40%
漁協等 (26)	4,000	31,236	0	35,236	5.77%
水産団体等 (13)	4,450	19,464	0	23,914	3.91%
計 (54)	226,450	184,720	200,000	611,170	100.00%



洪水影響など討議

第36回 相模湾の環境保全と水産振興シンポジウム開く
第三十六回「相模湾の環境保全と水産振興」シンポジウムは昨年十月三十一日に開催され、漁業者ら百五十人が参加、酒匂川大洪水とその影響調査結果などを聞き、質疑応答しました。

の竹松公太郎氏は、河川は治水・利水に加えて環境問題が重要視され、たと基調講演、相模湾水産振興事業団の武井正理理事長は漁場環境調査の必要性、相模湾試験場の山本章太郎氏は洪水による影響調査結果、神奈川県水産技術センターの加藤充宏氏はシラスの漁場形成、内水面試験場の井塚隆氏はアユなどの漁場環境調査結果を説明しました。

神奈川県漁業無線協会
一般社団法人
会長理事 栗山 義 男
〒238-0232
三浦市晴海町一七
TEL 046-818-2278

平成二十四年度栽培普及啓発事業

協会は、神奈川の豊かな海づくりに取り組んでいますが、平成二十四年度の栽培普及啓発事業では、県下各地のイベントで種苗放流を行いました。

◆荒崎・ヒラメ

今年度の同事業による種苗放流は、横須賀市長井町で昨年五月に行われた「荒崎海岸クリーンフェスタ2012春」が皮切りでした。日本釣振興会神奈川支部が主催し、全長六・七センチのヒラメの稚魚千尾を放流しました。

◆江奈湾・カサゴ

六月、松輪乗合船組合は、地元・剣崎小学校の全校生徒百十人に参加してもらい、当協会が生産した七百五十尾のカサゴ種苗を放流しました。

◆平塚漁港・ヒラメ

六月、地元の小学生百四十人は、平塚市漁協の後藤勇組合長の話を聞いた後、遊漁船に乗り、港の外に出て千尾のヒラメ



平塚市沖にヒラメ種苗放流

◆金沢・カサゴ

六月、東京湾地域遊漁協議会、横浜市漁協金沢支所が主催し、協会が生産した二千尾のカサゴ種苗を、地元の二校の小学生が漁船に乗りシーパラダイス近くの海に放流しました。

◆横須賀・カサゴ

七月、全日本磯釣り連盟神奈川支部が主催、横須賀市海辺釣り公園で行われた青少年・少女釣り大会に参加していた児童やその親たち合計五十人が、協会が生産した二千尾のカサゴ種苗を放流しました。



本牧海釣り施設でクロダイ種苗放流



横須賀市海辺釣り公園でカサゴ種苗放流

ヒラメ・カサゴ・マダイ・クロダイ種苗放流 水産資源の豊かな海づくりを目指して

◆久里浜・マダイ

七月、横須賀市東部漁協久里浜支所及び東京湾南部水産振興事業団は、地域の祭りに参加していた子どもたちやその親などに参加してもらい、久里浜漁港で協会が生産したマダイ種苗合計二千五百尾を放流しました。

◆小田原・マダイ

八月、小田原みなとまつりで関係者が漁船に乗り沖に出て四千尾のマダイ種苗を放流しました。協会は同まつり会場場でマダイ・カサゴ・ヒラメの稚魚やアワビ・サザエの稚貝を展示しました。

◆腰越・マダイ

九月、腰越みなとまつりで、地元の小学生と父兄二百人が参加し、腰越漁港岸壁から六百尾のマダイ種苗を放流しました。昨年五月から協会が育てていた種苗です。

◆東扇島・クロダイ

十月、川崎みなとまつり実行委員会が主催したイベントで、地元小学生四十人がクロダイ稚魚千尾を三年前にオープンした東扇島人工海岸で放流しました。

◆荒崎・クロダイ

十月、横須賀市・荒崎海岸クリーンフェスタ2012秋に参加した親子連れ五十人が、クロダイ稚魚千尾を放流しました。日本釣振興会神奈川支部が主催して実施しました。

さいばい漁業って何⑭

公益財団法人 神奈川県栽培漁業協会 専務理事 今井 利為



水産技術センターHP 荻野隆太

して中華料理にして味わうとまた違った味わいがあります。アワビは海で獲れるものですが、内陸の甲府で「煮貝」としてアワビが名物として有名です。このアワビは江戸時代駿河から醬油に漬けて運び味わったことが始まりです。

アワビの代表的な料理はなんとと言っても刺身です。クロアワビ、エゾアワビは身が硬く、コリコリとした食感を好む人に向いています。余り硬いものは敬遠しますと言う方には、マダカアワビ、メガイアワビがお勧めです。

夏に氷の器に氷の目に切ったアワビを氷水に浮かべた水貝は、季節の風情を楽しみます。よく、水貝には男貝を用いるとされていますが、クロアワビ、エゾアワビの雄と雌の両方が使われています。アワビの美味しいなと思う食べ方は、裸潜りの漁師が船に上がって休息する時、暖をとるため、松の薪を燃やしている囲炉裏があり、そこにアワビを貝殻ごと焼き、火が通ったかどうかぐらいの状態で海水に漬けて、かぶりつくのが最高です。エゾアワビは、干鮑と

で割ると回収率と言う数値が求められます。



また、回収したアワビの漁獲金額と種苗放流に要した経費を比較して下さい。

もちろん、種苗放流経費を上回る漁獲を上げないとアワビ種苗放流事業は赤字となります。黒字にするには、どうしたら良いか、どこを改善するべきかを考えて、改善策を立て、漁業協同組合員の皆様方の協力によって、実行してください。

城ヶ島で放流が始まった放流貝の累積水揚金額を較べると約六倍となっていました。

回収率 放流したアワビがどのくらいの数を漁獲されているかが種苗放流事業の成否を判断する基準となります。

しかし、回収率は、各漁場、放流サイズ、放流方法、放流場所の海底地形、漁業者の数などさまざまな要素が入り一概に何パーセントを回収したと言うことはなかなか難しいものです。(つづく)

あけましておめでとうございます 公益財団法人神奈川県栽培漁業協会の事業の発展を祈念いたします

株式会社リビエラリゾート
シーボニアマリナー
〒238-0225
三浦市三崎町小網代二八六
TEL 〇四六八八二二二

焼肉食堂 げんこつや
※葉山牛カルビ 945円
店主 石坂 幸央
〒240-0104
横須賀市芦名二〇一三
TEL 〇四六八五七一五二九
※定休日・毎週火曜、第三水曜

株式会社 鈴木組
代表取締役 脇山 俊
〒259-0201
足柄下郡真鶴町真鶴九九五二
TEL 〇四六五二六八二五五

芙蓉海洋開発株式会社
〒111-0051
東京都台東区蔵前三一五七
TEL 〇三五八二〇一一八

(有)瀬戸活魚センター
代表取締役社長 藤木 治夫
〒720-0203
広島県福山市田尻町四二八九番地
TEL 〇八四一九五六一三四七三
FAX 〇八四一九五六一三四七四

有限会社 パル
代表取締役 菅野 茂樹
〒238-0224
三浦市三崎町諸磯一二四九
TEL 〇四六一八八〇〇七五七
FAX 〇四六一八八〇〇七五六



【アクセス】車だと、横須賀市平成町・横須賀海岸通の横須賀市総合卸売市場入口の交差点を海に曲がると突き当りです。鮮度の良さが売り物なので、前日が時化だと販売は休みになるので問い合わせしてから来てほしいそうです。
販売日時:月・金・土・日曜日の午前10時から午後2時
《問い合わせ》横須賀市東部漁協
 横須賀支所 046-822-1052



キスマスター参加者から寄付
 シマノからの寄付は、協会が「マダイ遊漁者協力金制度」をスタートさせた平成十三年、同社が創立八十周年を迎えたこともあり寄付を始めた。そして同社は、創

立九十周年の今年までに合計十回、寄付の総額は千四百九十万円に達しています。神奈川県では、栽培漁業を取り巻く環境が厳しさを増しているだけに、同社の寄付はマダイ種苗生産・放流を大きく支えてくれています。また、リビエラリゾートは昨年十一月、第十七回「ハギマスタ2012」を開催し、表彰式会場で海の資源を豊かにして、と参加費の一部を協会に寄付してくれました。今回は、ヨット101



艇・113チームが参加4人が釣ったカワハギの4尾の合計の長さを競いました。同社は、わが国では最大級の釣りのイベントとして秋に「ハギマスタ1」、春に「キスマスタ1」を行い、その都度、資源増大のために、と参加者に呼び掛け協会に寄付を続けてくれています。

編集後記
 行政の財源不足は深刻で、このため、協会が行なってきたマダイ種苗放流も補助の打ち切りで先細りの放流数を余儀なくされています。そんな中で栽培漁業を支援しようとして寄付を続けてくれる企業・団体があります。また、今回、栽培募金を呼び掛ける「自販機」の設置の提案をいただきました。

一月八日 漁業者交流大会
 主催者あ 引き続き、漁業士認定証書授与式が行われ、「アオリイカ産卵礁設置試験」と題した活動発表、各地の活動紹介参加者の交流の後、「セーフティネット事業」に関する話題提供も行われます。

朝市・直販所めぐり

江戸前の活魚・鮮魚・貝類を消費者に「新安浦港鮮魚直販所」を開設

横須賀市東部漁協横須賀支所は、昨年十一月十日、江戸前の水産物を消費者に生産者価格で提供し、地産地消を推進しようとして「新安浦港鮮魚直販所」を開設しました。オープン初日には四百人を超える消費者が詰めかけ大賑わいとなり、幸先良いスタートを切りました。

販売するのは、獲れたばかりの活魚や鮮魚で、もちろん、活魚用の水槽も設置されており、目の前の海で獲れた活きの良さ・鮮度抜群さ、それとおいしさを提供したい、と同漁協の漁業者は張り切っています。

定している魚介類はマコガレイ、メバル、カサゴ、タチウオ、カマス、アイナメ、キス、イナダ、タイ、イカ類など多彩です。このほか、干物などの水産加工品、ワカメなどの海藻、同漁協の女性部はサメ肉を使ったフライやカレー、エイの煮ごりといった珍しい食材を開発し、販売することになっています。



オープンした直販所

栽培募金自販機の設置

日本ペプシコーラ(株)が協会に提案

栽培漁業協会は、現在、募金箱を船宿などに置き水産資源の培養に役立てよう釣り人などにご協力いただいておりますが、この度、日本ペプシコーラ(株)(サントリー)から協会の稚魚放流事業に協力するため募金自販機の設置に関するご提案をいただきました。



栽培基金自販機イメージ図

置者に対して支払う販売手数料のうち自販機設置者の要望する金額を協会への募金として、自販機設置者に代わって協会に振り込む仕組みです。協会と日本ペプシコーラ(株)との間で種苗放流支援自動販売機設置に関する協定書を交わします。寄付金の額は販売価格の3%を基本とし、自販機設置者との協議により変更することがあります。

平成二十五年一月から漁業協同組合や遊漁船の船宿に日本ペプシコーラ(株)の営業マンがセールスに伺う予定です。もし、設置の条件が合うようでしたら、稚魚放流の資金に役立てるため是非、ご協力をお願いします。



水産研究機関を訪問する外国研修生

このことは、日本の海外におけるマグロや他の水産対象種の資源管理条約や二国間協定において日本への理解を深めてもらうため、重要なことです。栽培漁業協会では、研修生に資源管理と自然環境の保全が漁業資源の維持には必要であることをお話しします。そして、資源が減少して、資源に稚魚が加入しない状況があれば、日本の栽培漁業の手法を説明します。そして、神奈川県のように稚魚や稚貝が干潟や藻場の喪失によって再生産が行われなくなってしまうようにすることが大事であることを強調し、その後、魚類と貝類の種苗生産の場を案内しています。研修生から鋭い質問を受け、自国に帰って少しでも研修の成果を生かそうとの熱意を感じます。

海外からの研修生

協会種苗生産施設など見学

毎年、海外漁業協力事業団の研修生が年二回に分かれて栽培漁業協会を訪れています。主に、開発途上国の若手行政マンで、将来それぞれの国で要職に就く人が日本の水産試験場、水産研究所、大学、水産庁などを訪れて日本の漁業の実情を見聞していきます。